

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2007年12月14日から2017年12月15日までです。
運用方針	投資対象とする外国投資証券を通じて、中長期的に信託財産の成長を目指して、積極的な運用を行います。 当ファンドおよび投資対象とする外国投資証券は、原則として為替ヘッジは行いません。
主要運用対象	外国投資証券 「アバディーン・グローバル・ブラジル・エクイティ・ファンド」 (ルクセンブルグ籍／円建て) 主として、ブラジルの株式等に投資します。 ※当該ファンドは、ファンド・オブ・ファンズにのみ取得されることを目的とします。
組入制限	①株式の直接投資は、行いません。 ②投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 ③同一銘柄の投資信託証券（ファンド・オブ・ファンズにのみ取得されることを目的とする投資信託証券は除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以下とします。 ④外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時（原則として6月、12月の各15日）に、原則として以下の方針に基づいて分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、上記①の範囲内で委託者が決定するものとし、原則として配当等収益等を中心に安定分配を行うことを基本とします。ただし、分配対象金額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。



AAM ブラジル株式ファンド (愛称：セレソン)

運用報告書（全体版）

第14期

決算日：2014年12月15日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「AAMブラジル株式ファンド」（愛称：セレソン）は、2014年12月15日に第14期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

アバディーン投信投資顧問株式会社

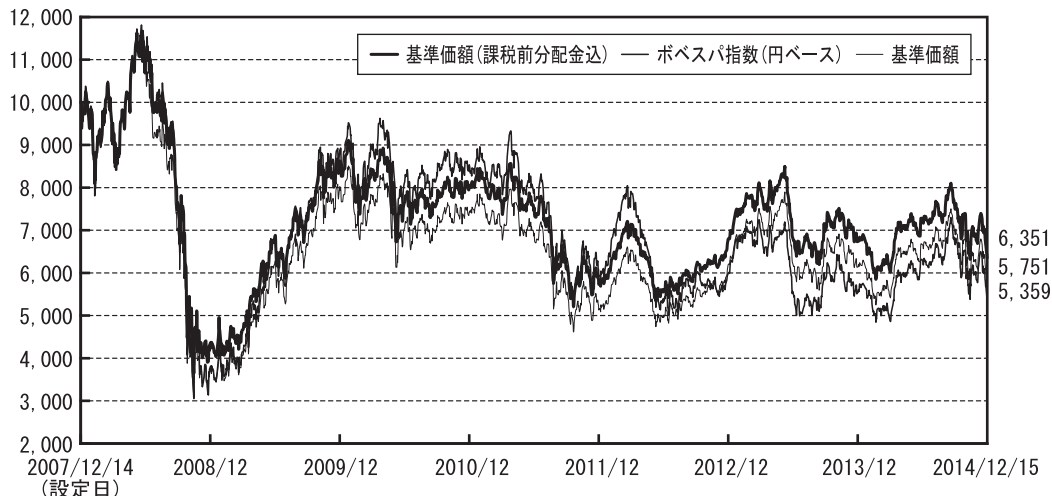
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-3 虎ノ門清和ビル
お問い合わせ窓口 03-4578-2251

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです。)
インターネット・ホームページ <http://www.aberdean-asset.co.jp>

◎当期の投資環境と運用経過（2014年6月17日から2014年12月15日まで）

設定以来の基準価額と参考指数の推移

（単位：円）



（注）当該ファンドではベンチマークを設定しておりませんが、参考指数としてボベスパ指数（円ベース）を記載しております。参考指数はファンド設定前日を10,000として指数化しております。

分配実績

決算日	分配金	決算日	分配金	決算日	分配金
第1期 (2008年6月16日)	600円	第6期 (2010年12月15日)	0円	第11期 (2013年6月17日)	0円
第2期 (2008年12月15日)	0円	第7期 (2011年6月15日)	0円	第12期 (2013年12月16日)	0円
第3期 (2009年6月15日)	0円	第8期 (2011年12月15日)	0円	第13期 (2014年6月16日)	0円
第4期 (2009年12月15日)	0円	第9期 (2012年6月15日)	0円	第14期 (2014年12月15日)	0円
第5期 (2010年6月15日)	0円	第10期 (2012年12月17日)	0円		
累計					600円

期	期首	期中高値	期中安値	当期末
第14期	2014/6/16	2014/9/4	2014/10/28	2014/12/15
	6,655円	7,504円	5,717円	5,751円

<基準価額の変動>

当ファンドは第14期の決算を迎え、基準価額は前期末の6,655円から当期末には5,751円、値下がり額は904円となりました。当期の基準価額の騰落率は13.6%の下落となりました。また、参考指数であるボベスパ指数（円ベース）は同期間に14.9%下落しました。

<変動要因>

（主なプラス要因）

ブラジル・リアルは対ドルで大きく下落したものの、円も大幅に下落したことで通貨による影響は相殺されて基準価額への影響は軽微でした。参考指数との対比では、原油価格急落の影響を受けた石油・ガスセクターをアンダーウェイトし、リターンも相対的に下落幅が小さかったことでプラス寄与しました。

(主なマイナス要因)

金融政策決定会合において、インフレや通貨安懸念から政策金利が再び引き上げられたことで、ブラジル株式市場が下落しました。参考指数との対比では、下落の影響の大きかった不動産やその他金融セクター等へのオーバーウェイトがマイナス寄与となりました。

【投資環境】

2014年6月のブラジル株式市場は、最大の貿易相手国である中国の製造業指数の上昇を好感し上昇して始まりしました。その後も世論調査でルセフ大統領の支持率が一段と低下したことを受けて大幅に上昇しました。中旬以降は、経済活動指数の低下や、ルセフ大統領が世論調査でリードを維持したこと、政府が国有銀行への資本注入を決定し金融業界の競争激化が懸念されたことなどから下落基調となりましたが、月前半の上昇が大きく、ボベスパ指数は前月末比+3.76%の上昇で月末を迎えました。

6月6日に発表された5月のブラジルの代表的なインフレ率指数である拡大消費者物価指数（IPC A）は、前年同月比+6.37%と4月の同+6.28%から上昇し、引き続き中央銀行のインフレ目標値上限付近で推移しました。一方、6月26日に中央銀行が公表した四半期インフレ報告では、今後1年間の物価上昇率を+5.1%と見込み、今後数四半期は強いインフレ圧力が緩和するとの見方を示しました。同報告での1-3月期の基礎的財政収支（プライマリーバランス）はGDP対比+1.9%の黒字で政府の年間目標と一致し、2014年のGDP成長率見通しは+1.6%で前回予想の+2.0%から下方修正となりました。

ブラジル・リアル相場は、対米ドル、対円共に上昇しました。月初、幅広い通貨に対する米ドル高傾向により下落して始まりましたが、その後は欧州中央銀行（ECB）の追加緩和を受けた新興国通貨高やリアル買い介入プログラムの延長発表などから上昇しました。中盤に入るとウクライナやイラク情勢の緊迫化を受けたリスク回避の動きによりリアルは両通貨に対して下落しましたが、その後は、米国の成長見通しの悪化による米ドル安傾向や、ブラジル中央銀行がリアル買い介入プログラムを現状規模で12月まで延長すると発表したことなどが好感され堅調な推移となり、最終的には前月末比でリアル高となる1リアル=45円台後半で月末を迎えました。

7月のブラジル株式市場は、前半、米国の雇用統計が予想を上回ったことで世界経済見通しが改善したことやFIFAワールドカップでのブラジルの敗退がブラジルの政権交代につながるなどの観測を受けて上昇基調で推移しました。中旬以降も、世論調査でルセフ大統領の支持率が低下し再選の見通しが後退したことを受けて上昇、7月22日には1年4カ月振りの高値水準となりました。月末にかけては、低調な企業業績やアルゼンチンの債務問題が嫌気され下落しましたが、月前半の上昇が大きく、ボベスパ指数は前月末比+5.01%の上昇で月末を迎えました。

7月8日に発表された6月のIPC Aは、前年同月比+6.52%と、前月の+6.37%及び市場予想の+6.51%を上回りました。上昇率がインフレターゲット上限（6.5%）を上回ったのは約1年ぶりです。この上昇には主にワールドカップ関連である航空運賃やホテル宿泊料の上昇が寄与していますが、食料品価格は市場予想以上に下落しました。ブラジル中央銀行は、16日まで開いた金融政策決定会合で、政策金利である基準金利を年11.0%に据え置くことを決定しました。中銀は2013年4月から2014年4月の9会合連続で合計3.75%の利上げを実施していましたが、前回5月の会合より基準金利を据え置きしました。

ブラジル・リアル相場は、対米ドル、対円共に下落しました。月前半は米国の雇用統計が予想を上回ったことを受けた米ドル高や、ポルトガル大手銀行の信用不安問題からリスク回避傾向となったことを背景にリアルは下落基調となりました。中旬は、ウクライナ情勢への懸念からリスク回避傾向が高まり下落する局面がありましたが、その後はルセフ大統領への支持率低下により上昇しました。月末付近では好調な米国経済指標を受けた米ドル高傾向やアルゼンチンの債務問題からリスク回避の動きが強まったことを背景に再度下落基調となり、最終的には前月末比で小幅にリアル安となる1リアル=45円台前半で月末を迎えました。

8月のブラジル株式市場は、前半ほぼ横ばいで推移しましたが、中旬以降、大統領選への出馬を表明していた野党・ブラジル社会党（PSB）のカンボス氏の死去により、同氏の副大統領候補であったシルバ氏が後継候補になるとの観測や、実際にシルバ氏が大統領選への出馬を正式表明したことでルセフ大統領の再選可能性が低下したこと、ブラジル中央銀行が信用支援策を発表したことなどを受けて上昇しました。月間の上昇率としては2012年1月以来の高さとなり、ボベスパ指数は前月末比+9.78%の上昇で月末を迎えました。

8月8日に発表された7月のIPC Aは、前年同月比+6.50%と、前月の+6.52%を小幅に下回りました。ワールドカップの終了により、関連する航空運賃やホテル宿泊料が下落したことや、食料品価格の下落がインフレ率の低下に寄与しました。ブラジル地理統計院（IBGE）が8月29日に発表した4~6月のGDPは前

期比▲0.6%と、市場予想の▲0.4%よりも大きな落ち込みとなりました。マイナス成長が2四半期連続となったのはリーマン・ショック後の2008年後半以降、約5年ぶりです。マイナス成長の背景にはワールドカップでのブラジル代表試合時の休日などに伴う影響や、大統領選を控えた様子見姿勢による投資の減少が挙げられます。一方、前四半期に減少した個人消費や輸出は増加に転じました。

ブラジル・レアル相場は、対米ドル、対円共に上昇しました。初旬、ロシアが経済制裁に対する対抗措置を検討しているとの報道などを受けて地政学リスクが高まり、レアルは下落基調となりました。一方、中旬にかけては、中銀のレアル買い介入プログラムの強化や大統領選挙における政権交代の可能性が高まったことなどを背景に上昇基調に転じました。その後、FOMC（米国連邦公開市場委員会）議事録を受けた米ドル高により下落する局面がありましたが、月末付近では、政権交代への期待の高まりを受けて上昇基調となり、最終的には前月末比でレアル高となる1レアル=46円台半ばで月末を迎えました。

9月のブラジル株式市場は、月前半、ブラジルの経済成長見通しが悪化したことや、ルセフ大統領への支持率が拡大しているとの見方が広がり、下落基調で推移しました。中盤には、世論調査でルセフ大統領の支持率低下が示されるとの観測から上昇する局面があったものの、その後、野党候補のシルバ氏の支持率低下が示されたことで再度下落基調となりました。月末近くでも世論調査でルセフ大統領の支持が拡大したことを受けて大幅に下落し、ボベスパ指数は前月末比▲11.7%の下落で月末を迎えました。

ブラジル中央銀行は、3日まで開いた金融政策決定会合で、政策金利である基準金利を年11.0%に据え置くことを決定しました。9月5日に発表された8月のIPCAは、前年同月比+6.51%と、前月の+6.50%を小幅に上回りました。食料品価格は前月から引き続き、落ち着きを見せているものの、7月に大幅に値下がりの航空運賃が大きく上昇したことや、新学期が始まり教育費が上昇したことがインフレ率の上昇に影響しました。9月9日、格付け会社ムーディーズ・インベスターズ・サービスは、ブラジルの信用格付け見通しを「安定的」から「ネガティブ」に引き下げました。自国通貨建てと外貨建ての格付けは共に「Baa2」のまま据え置きました。

ブラジル・レアル相場は、対米ドル、対円共に下落しました。前半はルセフ大統領への支持が拡大しているとの世論調査の結果を受けて、政権交代への期待が薄れたことを背景にレアルは下落基調となりました。中盤はFOMC（米国連邦公開市場委員会）で金利予測が引き上げられたことからレアルは対米ドルで下落しました。一方、対米ドルで円安が進んだため、中盤にレアルは対円で上昇しました。その後、ブラジル中銀が為替介入姿勢を強めたことから両通貨に対してレアル高に振れる局面もありましたが、中国の景気先行き懸念や、ロシアの報復制裁を受けたリスク回避の動きから下落し、最終的には前月末比で円高レアル安となる1レアル=44円台後半で月末を迎えました。

10月のブラジル株式市場は、月前半、大統領選第1回投票で、市場寄りで見られていたネーベス氏が予想外に躍進したことや、決選投票の世論調査でネーベス氏の支持率が拡大し、政権交代への期待が高まったことを受けて上昇基調で推移しました。一方、中盤以降は世論調査でルセフ大統領再選の可能性が高まったことや、実際に26日の決選投票でルセフ大統領が再選したことを背景に下落基調で推移しました。ただし、その後は中旬以降の下落による割安感から上昇し、ボベスパ指数は前月末比+0.95%の上昇で月末を迎えました。

ブラジル中央銀行は、29日まで開いた金融政策決定会合で、政策金利である基準金利を0.25%引き上げ、年11.25%にすると決定しました。中銀は5月以降、3会合連続で基準金利を据え置いており、この利上げは市場にとっては予想外で4会合ぶりとなりました。10月8日に発表された9月のIPCAは、前年同月比+6.75%と、前月の+6.51%を上回りました。主に干ばつによる食料品価格の上昇が影響したことで、中銀は声明文において“前回の会合以降、インフレリスクが高まった”としており、インフレ率が4カ月連続でインフレターゲット上限（6.5%）を上回る中、インフレに対する警戒感を示しました。

ブラジル・レアル相場は、対米ドルで下落し、対円で上昇しました。前半は大統領選第1回投票でのネーベス氏の躍進や、決選投票の世論調査を受けて政権交代への期待が高まったことを背景に、対米ドル、対円共にレアルは上昇基調で推移しました。中盤以降は、世論調査の結果が接戦で政権交代の可能性が低下したことや、欧米の景気後退懸念が台頭したこと、決選投票でルセフ大統領が再選したこと等を受けて下落しました。しかし、その後はルセフ大統領の新政策及び閣僚人事への期待感や予想外のブラジル中銀の利上げによりレアルは両通貨に対して上昇しました。月末にはブラジルの財政赤字拡大を受けてレアルは対ドルで下落しましたが、日銀の追加緩和発表により対米ドルで円安が進んだため、最終的には前月末比で円安レアル高となる1レアル=45円台半ばで月末を迎えました。

11月のブラジル株式市場は、月前半、世界的な景気減速懸念やブラジル中央銀行がインフレ抑制のために追加利上げを示唆したこと、原油価格の下落を背景にエネルギー銘柄が大きく値を下げたことなどを受けて下落

基調で推移しました。一方、中盤以降は米国株式市場の上昇や、インフレ率が予想を下回る伸びにとどまったこと、ルーラ前大統領の下で財務局長を務めていたレビ氏が次期財務相に指名されるとの観測などから上昇しました。月末にかけては原油価格の下げが一段と進んだことを受けてエネルギー銘柄主導で再度下落し、ボベスバ指数は前月末比+0.07%のほぼ横ばいで月末を迎えました。

11月7日に発表された10月のIPC Aは、前年同月比+6.59%と、前月の+6.75%及び市場予想をやや下回りました。前月に上昇幅の大きかった食料品価格や航空運賃の上昇率が鈍化したことが主な要因です。一方、ブラジル中央銀行が24日に発表した調査によると、2014年のインフレ見通しは前週予想の前年比+6.40%から+6.43%へ悪化、2015年も前週予想の前年比+6.40%から+6.45%へ悪化し、今後も引き続きインフレ率はインフレーターゲット上限(6.5%)付近で高止まりする見込みです。

ブラジル・リアル相場は、対米ドルで下落し、対円で上昇しました。前半は幅広い通貨に対する米ドル高傾向や閣僚人事に対する不透明感が広がり、対米ドル、対円共にリアルは下落基調で推移しました。一方、中盤以降はルーラ前大統領の下で財務局長を務めていたレビ氏が次期財務相に指名されるとの観測が好感され上昇基調に転じましたが、月末にかけては原油安が一段と進んだことを背景に米ドル高傾向となり、リアルは両通貨に対して下落しました。対米ドルでは、月後半の上昇幅に対して月前半の下落幅が大きく前月末比米ドル高リアル安で月末を迎えましたが、対円では米ドルに対して円安が進んだため、最終的には前月末比で円安リアル高となる1リアル=46円台前半で月末を迎えました。

【運用経過】

当ファンドは、主な投資対象とする「アパディーン・グローバル・ブラジル・エクイティ・ファンド」を高位に組み入れて運用を行っています。当期中に新規や全売却の銘柄はなく、前期からのポートフォリオを概ね保持しました。

セクター配分の推移(月末ベース)

	2014年5月末	6月末	7月末	8月末	9月末	10月末	11月末
金属・鉱業	13.4%	12.9%	13.6%	11.6%	12.0%	11.2%	10.4%
銀行	14.2%	13.9%	14.7%	14.3%	13.7%	14.3%	14.9%
その他金融	8.4%	8.6%	9.0%	8.9%	7.9%	8.2%	8.7%
小売	8.2%	8.2%	7.8%	8.8%	8.5%	8.9%	9.1%
運輸・輸送	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不動産	8.2%	8.4%	8.7%	9.0%	9.0%	9.2%	9.2%
食品・飲料・タバコ	11.9%	12.0%	11.6%	11.6%	12.6%	13.0%	12.9%
消費財	3.7%	3.5%	3.3%	3.6%	3.7%	3.6%	3.6%
石油・ガス	12.3%	12.1%	11.0%	12.0%	11.1%	10.4%	7.2%
自動車	3.7%	3.5%	3.5%	3.7%	3.7%	3.8%	3.7%
専門店	0.0%	4.1%	3.5%	3.7%	3.8%	3.8%	4.1%
その他セクター	12.3%	11.7%	12.1%	11.7%	12.5%	12.6%	13.4%
コール・現金	1.0%	1.3%	1.4%	1.2%	1.5%	1.1%	2.9%

通貨配分の推移(月末ベース)

	2014年5月末	6月末	7月末	8月末	9月末	10月末	11月末
ブラジル・リアル	99.0%	98.7%	98.7%	98.8%	98.5%	98.9%	97.1%
米ドル	1.0%	1.3%	1.4%	1.2%	1.5%	1.1%	2.9%
日本円	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

組入状況の推移（月末ベース）

	2014年5月末	6月末	7月末	8月末	9月末	10月末	11月末
アバディーン・グローバル・ブラジル・エクイティ・ファンド	99.2%	98.2%	97.8%	97.9%	98.5%	98.8%	98.4%
アバディーン・リクイディティ・ファンド（ルクス）米ドル	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.6%	0.6%
コール・現金	0.4%	1.3%	1.8%	1.6%	1.0%	0.7%	1.0%
合 計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【収益分配金】

基準価額の水準等を勘案し、第14期末の収益分配は行いませんでした。

なお、収益分配に充てなかった利益は信託財産に留保し、留保金の運用については、特に制限を設けず元本部分と同一の運用を行います。

【今後の市場見通しと投資戦略】

当ファンドは引き続き「アバディーン・グローバル・ブラジル・エクイティ・ファンド」への投資比率を高位に保ち、強固なバランスシート、健全な財務、実績のある経営陣を備えている企業の株式を実質的な投資対象としていきます。

次期財務相にレビ氏を指名したことは、ルセフ大統領がブラジル経済改革の必要性を意識していることの表れと考えられ、正統な財政金融政策への回帰が期待されます。一方、細部まで政策を管理するルセフ大統領のもとでレビ氏がどこまで自主性を発揮できるかは未知数です。また、ルセフ大統領は選挙戦で財政緊縮策への反対を表明していたため、厳しい財政規律を課すことは非常に難しい課題となります。他方、明るい材料は、ブラジル中央銀行がインフレに立ち向かう確固たる意思を示したことです。直近の金融政策決定会合では基準金利を約3年ぶりの高水準となる11.75%まで引き上げました。これは市場に適した決定として、インフレターゲット制度の信頼性を高めています。

（上記の見通しと戦略は、2014年12月15日時点のものです。）

当報告書はアバディーン投信投資顧問株式会社独自の分析に基づき作成したものです。信頼できる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性が保証されるものではありません。当資料で示した見通しおよび分析結果等については、予告なく変更する場合があります。また、当資料中の過去の収益率等は、将来の投資成果を保証するものではありません。

◎最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ボベスパ指数 (円ベース)		投資証券 組入比率	純資産 総額	
	(分配落)	税込 分配 金	期 騰 落 中 率	期 騰 落 中 率			
	円	円	%		%	百万円	
10期 (2012年12月17日)	6,215	0	25.4	6,011	12.8	99.0	4,580
11期 (2013年6月17日)	6,149	0	△ 1.1	5,478	△ 8.9	99.0	3,659
12期 (2013年12月16日)	6,148	0	△ 0.0	5,553	1.4	99.1	2,928
13期 (2014年6月16日)	6,655	0	8.2	6,294	13.3	98.8	2,632
14期 (2014年12月15日)	5,751	0	△13.6	5,359	△14.9	98.6	2,001

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 純資産の単位未満は切捨て。騰落率及び各比率は小数第2位以下で四捨五入。

(注3) 当該ファンドではベンチマークを設定していません。参考指数としてボベスパ指数 (円ベース) を記載しておりますが、当ファンドは参考指数を目指して運用するものではありません。参考指数は設定日前日を10,000として指数化しています。

◎当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基準価額		ボベスパ指数 (円ベース)		投資証券 組入比率
		騰 落 率		騰 落 率	
(期首)	円	%		%	%
2014年6月16日	6,655	—	6,294	—	98.8
6月末	6,612	△ 0.6	6,169	△ 2.0	98.7
7月末	6,894	3.6	6,542	3.9	98.3
8月末	7,303	9.7	6,987	11.0	98.4
9月末	6,428	△ 3.4	6,131	△ 2.6	99.0
10月末	6,295	△ 5.4	5,961	△ 5.3	99.3
11月末	6,786	2.0	6,473	2.8	99.0
(期末)					
2014年12月15日	5,751	△13.6	5,359	△14.9	98.6

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 騰落率は小数第2位以下で四捨五入。

(注3) 当該ファンドではベンチマークを設定していません。参考指数としてボベスパ指数 (円ベース) を記載しておりますが、当ファンドは参考指数を目指して運用するものではありません。参考指数は設定日前日を10,000として指数化しています。

◎ 1 万口（元本10,000円）当たりの費用の明細

項目	第14期 (2014年6月17日～2014年12月15日)		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	45円	0.673%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 当期中の平均基準価額は6,719円
（委託会社）	(14)	(0.220)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(29)	(0.427)	情報提供、各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	(2)	(0.027)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	2円	0.029%	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(2)	(0.029)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
合計	47円	0.702%	

(注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 項目毎に円未満は四捨五入し、単位未満は0円と表示しています。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資証券が支払った費用を含みません。

◎売買及び取引の状況（2014年6月17日から2014年12月15日まで）

投資証券

		口数	買付額	口数	売付額
外国	ルクセンブルグ（邦貨建）	千口 1,534	千円 106,000	千口 6,307	千円 405,000

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

◎主要な売買銘柄（2014年6月17日から2014年12月15日まで）

投資証券

銘柄名		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	邦貨建 アバディーン・グローバル・ブラジル・エクイティ・ファンド	口 1,534,766	千円 106,000	口 6,307,160	千円 405,000

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

◎利害関係人との取引状況等（2014年6月17日から2014年12月15日まで）

(1) 期中の利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
投 資 証 券	百万円 106	百万円 106	% 100.0	百万円 405	百万円 405	% 100.0

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る上記利害関係人とは、アバディーン・グローバル・サービス・エス・エイです。

(2) 期中の利害関係人の発行する有価証券等

種 類	買 付 額	売 付 額	作成期末保有額
投 資 証 券	百万円 106	百万円 405	百万円 1,974

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る上記利害関係人とは、アバディーン・グローバル・サービス・エス・エイです。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	第 14 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	－千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 (B)	－千円
(B)/(A)	－%

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る上記利害関係人とは、アバディーン・グローバル・サービス・エス・エイです。

◎組入資産の明細

投資証券

(2014年12月15日現在)

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額	比 率	
アバディーン・グローバル・ブラジル・エクイティ・ファンド(邦貨建)	口 40,482,935	口 35,710,541	千円 1,960,919	% 98.0	
アバディーン・リクイディティ・ファンド(ルクス)米ドル	口 100	口 100	外貨建金額 千米ドル 113	邦貨換算金額 千円 13,474	% 0.7

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

◎投資信託財産の構成

(2014年12月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 証 券	1,974,393	97.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	60,385	3.0
投 資 信 託 財 産 総 額	2,034,778	100.0

(注1) 金額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建て純資産 (13,474千円) の投資信託財産総額 (2,034,778千円) に対する比率は0.7%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2014年12月15日における邦貨換算レートは1米ドル=118.61円です。

◎資産、負債、元本および基準価額の状況

(2014年12月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,034,778,118円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	48,384,353
投 資 証 券(評価額)	1,974,393,752
未 収 入 金	12,000,000
未 収 利 息	13
(B) 負 債	33,238,432
未 払 解 約 金	16,230,184
未 払 信 託 報 酬	16,306,248
そ の 他 未 払 費 用	702,000
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	2,001,539,686
元 本	3,480,302,357
次 期 繰 越 損 益 金	△1,478,762,671
(D) 受 益 権 総 口 数	3,480,302,357口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C/D)	5,751円

<注記事項> (当運用報告書作成時点では監査未了です。)

(注1)

期首元本額	3,955,869,071円
期中追加設定元本額	288,255,080円
期中一部解約元本額	763,821,794円
1口当たりの純資産額	0.5751円
(1万口当たりの純資産額)	5,751円

(注2) 当期末における未払信託報酬 (消費税等相当額を含む) の簡便法による内訳は、「1万口 (元本10,000円) 当たりの費用の明細」をご覧ください。

(注3) 当期末で、純資産総額が元本を下回っており、その差額は1,478,762,671円です。

◎損益の状況

当期 (2014年6月17日から2014年12月15日まで)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	25,927,234円
受 取 配 当 金 息	25,922,839
受 取 利 息	4,395
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 330,667,410
売 買 損 益	19,976,497
売 買 損 益	△ 350,643,907
(C) 信 託 報 酬 等	△ 17,008,248
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 321,748,424
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 304,887,559
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 852,126,688
(配 当 等 相 当 額)	(161,843,270)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△1,013,969,958)
(G) 計 算 上 の 損 益 金(D+E+F)	△1,478,762,671
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	△1,478,762,671
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 852,126,688
(配 当 等 相 当 額)	(161,843,270)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△1,013,969,958)
分 配 準 備 積 立 金	89,459,886
繰 越 損 益 金	△ 716,095,869

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 当期における信託報酬 (消費税等相当額を含む) の簡便法による内訳は、「1万口 (元本10,000円) 当たりの費用の明細」をご覧ください。

(注5) 分配金の計算過程
 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (8,918,986円)、費用控除後に繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に規定される収益調整金 (161,843,270円) 及び分配準備積立金 (80,540,900円) より分配対象収益は251,303,156円 (1万口当たり722円) ありますが、分配を行っておりません。

◎分配原資の内訳

(単位：円・％、1万口当たり・税引前)

項目	第14期
	(2014年6月17日～2014年12月15日)
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—％
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	722

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益(含、評価益)」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

◇復興特別所得税についてのお知らせ

2014年1月1日から2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315% (所得税および復興特別所得税15.315%、並びに地方税5% (法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。)) の税率が適用されます。

なお、復興特別所得税に係る記載がされた目論見書の再交付をご希望される受益者の方につきましては、お申し出頂ければ再度、送付させていただきますので、その旨を販売会社までお申し出ください。

◇「運用報告書2段階化」についてのお知らせ

「投資信託及び投資法人に関する法律」の改正に伴い、2014年12月1日付で投資信託約款に所要の変更を行い、以降は運用報告書に記載すべき事項のうち、重要な事項を記載した「交付運用報告書」を作成しお届けしました。

また、2014年12月1日以降作成分の「運用報告書(全体版)」は委託会社のホームページでご覧いただけますが、書面での交付をご希望の場合には、販売会社を通じて交付いたします。

参考情報

「A AMブラジル株式ファンド」が投資対象とする外国投資証券およびその概要

ファンド名	アバディーン・グローバル・ブラジル・エクイティ・ファンド
形態	ルクセンブルグ籍/円建て/外国投資証券
投資の目的	ブラジルの株式等に投資し、配当収益と値上がり益から中長期的に信託財産の成長を目指します。
投資対象	主として、今後高い成長が期待される、次のブラジルの株式等に投資します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ブラジルに本社または主たる営業所を置く企業の株式 ・ブラジル国内で主たる事業を営む企業の株式 ただし、ファンドは預託証券（DR） [*] に投資を行う場合もあります。 [*] 預託証券（DR）とは、Depositary Receiptの略で、ある国の企業の株式を海外市場でも流通させるために、その会社の株式を銀行等に預託して、その株式の代わりに現地法に従い海外で発行する証券のことをいいます。株式と同様に、証券取引所で取引されます。
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ✓中長期的に信託財産の成長を目的として運用を行います。 ✓ブラジル株式等の組入れを高位に保ち、アクティブ運用を行います。 ✓株価指数先物等をヘッジ目的や、流動性の確保などのために利用します。 ✓MSCIブラジル10/40（円ベース）[*]を参考指標（変更することがあります。）とします。 [*] MSCIブラジル10/40指数（円ベース）とは、ブラジルの証券取引所に上場する企業を対象とした一般的な指数であるMSCI（モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル）ブラジル指数に対し、投資信託に合わせた調整（時価総額が大きな銘柄で銘柄毎の構成比率の上限が10%以下となるようにすること、5%を超える銘柄グループの合計が上限40%を超えないようにすること等）を加えた浮動株調整後時価総額加重平均を算出した指数をいいます。なお、当該指数は、MSCIが開発、計算した指数で、同指数に関する著作権、知的財産その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
設定日	平成24年6月15日
決算日	毎年9月末
分配金確定日	毎年1月、4月、7月、10月の1日
分配方針	毎年1月、4月、7月、10月の1日（分配金計算日）から2ヶ月以内（2月、5月、8月、11月の最終営業日迄）に分配を行います。ただし、マーケットの状況等によっては分配を行わない場合もあります。
運用報酬等	運用資産総額に対し、年率0.65%が運用報酬等としてかかります。 [*] 運用報酬等は将来的に変更になる場合があります。
その他費用	<ul style="list-style-type: none"> ・有価証券・デリバティブ等の取引の手数料 ・外国証券を外国で保管する場合の費用 ・信託事務の処理に要する諸費用 ・一部解約に伴い立替を受ける場合や借入を行う場合の利息 ・監査費用および弁護士費用等
申込手数料	ありません。
管理会社	アバディーン・グローバル・サービスズ・エス・エイ
投資顧問会社	アバディーン・インターナショナル・ファンド・マネジャーズ・リミテッド
副投資顧問会社	アバディーン・アセット・マネジャーズ・リミテッド（英国）
管理行	登録・名義書換事務代行会社： アバディーン・グローバル・サービスズ・エス・エイ 管理事務代行会社： BNPパリバ・セキュリティーズ・サービスズ（ルクセンブルグ支店） （登録・名義書換事務代行を除きます。）
保管銀行	BNPパリバ・セキュリティーズ・サービスズ（ルクセンブルグ支店）

^{*}当該ファンドは、ファンド・オブ・ファンズにのみ取得されることを目的とします。

ファンド形態	アバディーン・リクイディティ・ファンド (ルクス) 米ドル ルクセンブルグ籍 / 米ドル建て 外国投資証券
主な投資対象	国外の公社債およびC P、C Dを含む短期金融資産等
運用の基本方針	主として国外の公社債および短期金融資産等に投資することにより安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を図ることを目標として運用を行います。
設定日	昭和59年9月17日
決算日	原則毎年3月31日
分配方針	分配は行いません。
管理費用	原則として、ありません。
その他費用	事務管理費用、保管費用等
申込手数料	原則として、ありません。
管理会社	アバディーン・グローバル・サービス・エス・エイ
投資顧問会社	アバディーン・インターナショナル・ファンド・マネジャーズ・リミテッド
管理事務代行会社	登録・名義書換事務代行会社： アバディーン・グローバル・サービス・エス・エイ 管理事務代行会社： ステート・ストリート・バンク・ルクセンブルグ・エス・エイ (登録・名義書換事務代行を除きます。)
保管銀行	ステート・ストリート・バンク・ルクセンブルグ・エス・エイ

(参考情報)

1. 「AAMブラジル株式ファンド」が投資対象とするアバディーン・グローバル・ブラジル・エクイティ・ファンドの状況

◎設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分 配 落)	分 配 金	騰 落 率
	円	円	%
(設 定 日) 2007年12月14日	100,000	—	—
2008年3月31日	86,525	489	△13.0
2009年3月31日	41,787	3,815	△47.3
2010年3月31日	79,749	1,136	93.6
2011年3月31日	74,630	1,311	△4.8
2012年3月31日	60,047	1,095	△18.1
2012年9月30日	52,396	644	△11.7
2013年9月30日	62,547	1,087	21.4
2014年9月30日	61,592	1,204	0.4
2014年12月15日現在	53,738	169	△12.8

(注1) 基準価額は1口当たりで分配落。

(注2) 騰落率は分配金込み。

(注3) 騰落率は小数第2位以下四捨五入。

(注4) 「CSエクイティ・ファンド(ルクス)ブラジル」は、2012年6月15日に「アバディーン・グローバル・ブラジル・エクイティ・ファンド」と合併しました。

◎最近1年間の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額 (分 配 落)	分 配 金	騰 落 率
	円	円	%
2013年12月末	61,151	—	—
2014年1月末	52,159	341	△14.1
2月末	54,528	—	△10.3
3月末	60,733	—	△0.1
4月末	61,584	196	1.6
5月末	60,824	—	0.3
6月末	63,423	—	4.6
7月末	64,469	573	7.2
8月末	71,070	—	18.0
9月末	61,592	—	2.5
10月末	62,891	169	4.9
11月末	63,733	—	6.3
(現 在 日) 2014年12月15日	53,738	—	△10.0

(注1) 基準価額は1口当たりで分配落。

(注2) 騰落率は2013年12月末(分配落)比で分配金込み。

(注3) 騰落率は小数第2位以下四捨五入。

1) アバディーン・グローバル・ブラジル・エクイティ・ファンドの損益の状況

AAMブラジル株式ファンドは、アバディーン・グローバル・ブラジル・エクイティ・ファンドの投資証券に投資していますが、以下の内容は、アバディーン・グローバル・ブラジル・エクイティ・ファンドの全てのクラスの投資証券の内容を合算しています。

(1) 前期末 (2013年9月30日) 純資産額	48,575千米ドル
(2) 損益計算書 (2013年10月1日から2014年3月31日まで)	(単位：千米ドル)
収益	
受取配当金	629
収益合計	629
費用	
投資顧問料	204
保管費用	46
管理費用	29
居住代理、登録、支払、移転代理に係る手数料	9
投資会社手数料	7
税金	4
営業経費	18
費用合計	317
投資純利益	312
実現及び未実現損益	
有価証券、先物取引に係る実現損益	△ 241
有価証券、先物取引に係る未実現差損益	△ 3,690
実現および未実現損益合計	△ 3,931
運用による純資産増減額	△ 3,619
(3) 元本増減額	
追加・解約による純資産増減額	△ 5,749
(4) 分配金支払いによる純資産減少額	
純資産減少額	△ 240
(5) 2014年3月31日現在 純資産額	38,967

2) 組入資産の明細

<有価証券>

(2014年3月31日現在)

銘	柄	名	株数	評価額	業種等
			株	千円ドル	
Arezzo	Industria E Comercio		110,915	1,354	一般消費財・サービス
CIA	Hering		80,400	976	一般消費財・サービス
Localiza	Rent a Car		92,150	1,355	一般消費財・サービス
Lojas	Renner		84,100	2,396	一般消費財・サービス
Ambev			240,120	1,802	生活必需品
BRF	-Brasil Foods		61,000	1,225	生活必需品
Natura	Cosmeticos		87,000	1,468	生活必需品
Raia	Drogasil		48,000	418	生活必需品
Souza	Cruz		158,000	1,440	生活必需品
Petroleo	Brasileiro		475,100	3,147	エネルギー
Ultrapar	Participacoes		71,800	1,741	エネルギー
Banco	Bradesco		259,500	3,858	金融
BM&F	Bovespa		329,100	1,641	金融
Bradespar	(Pref)		138,100	1,206	金融
Iguatemi	Empressa de Shopping		137,810	1,326	金融
Itau	Unibanco		128,550	1,809	金融
Inversora de	Electrica de Buenos Aires (Pref)		478,401	1,960	金融
Investimentos	Itau SA		7,345	30	金融
Multiplan	Empreendimentos		80,816	1,732	金融
Fleury			22,000	187	ヘルスケア
OdontoPrev			194,000	777	ヘルスケア
Valid	Solucoes		40,000	620	資本財・サービス
WEG			43,000	604	資本財・サービス
Wilson	Sons		85,000	1,092	資本財・サービス
TOTVS			52,100	822	情報技術
Vale			262,800	3,662	素材
	合	計	3,767,107	38,648	

<その他資産・負債>

(2014年3月31日現在)

種 類	金 額
	千米ドル
Cash at bank	510
Interest and dividends receivable	156
Receivable for investments sold	337
Other assets	7
Liabilities	△691
(Payable for investments purchased)	(△ 20)
(Taxes and expenses payable)	(△107)
(Redemptions payable)	(△479)
(Other liabilities)	(△ 85)
合 計	319
	千米ドル
総合計	38,967

*本表は、「アバディーン・グローバル・サービス・エス・エイ」から提供を受けた情報をもとに作成しております。

2. AAMブラジル株式ファンドが投資対象とするアバディーン・リクイディティ・ファンド（ルクス）米ドルの状況

◎最近1年間の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率
	米ドル	%
2013年12月末	1, 134. 35721	—
2014年1月末	1, 134. 53488	0. 0
2月末	1, 134. 68515	0. 0
3月末	1, 134. 83861	0. 0
4月末	1, 134. 97630	0. 1
5月末	1, 135. 12688	0. 1
6月末	1, 135. 26152	0. 1
7月末	1, 135. 40658	0. 1
8月末	1, 135. 54758	0. 1
9月末	1, 135. 68176	0. 1
10月末	1, 135. 82527	0. 1
11月末	1, 135. 95730	0. 1
(現 在 日) 2014年12月15日	1, 136. 02879	0. 1

(注1) 基準価額は1口当たり、騰落率は2013年12月末比。

(注2) 騰落率は小数第2位以下四捨五入。

1) アバディーン・リクイディティ・ファンド（ルクス）米ドルの損益の状況

AAMブラジル株式ファンドは、アバディーン・リクイディティ・ファンド（ルクス）米ドルの投資証券に投資していますが、以下の内容は、アバディーン・リクイディティ・ファンド（ルクス）米ドルの全てのクラスの投資証券の内容を合算しています。

(1) 前期末（2013年3月31日）純資産額 2,152,673千米ドル

(2) 損益計算書（2013年4月1日から2014年3月31日まで）（単位：千米ドル）

収益		
受取利息		6,185
その他収益		3
収益合計		6,188
費用		
委託者報酬		2,843
管理報酬		292
保管費用		58
監査報酬等		428
その他費用		682
費用合計		4,303
投資純利益		1,885
実現および未実現損益		
有価証券等に係る未実現損益	△	723
実現および未実現損益合計	△	723
運用による純資産増減額		1,162
(3) 元本増減額		
追加・解約による純資産増減額	△	227,805
(4) 2014年3月31日現在 純資産額		1,926,030

2) <組入資産の明細>

(2014年3月31日現在)

銘 柄 名	償還日/満期日	額 面 金 額	評 価 額
<Bonds>			千米ドル
Bank of Montreal (EMTN)	29/04/2014	4,650,000	4,655
BNP Paribas (MTN)	20/12/2014	10,000,000	10,189
Caisse des Depots et Consignations (EMTN)	25/11/2014	10,000,000	10,012
Commonwealth Bank of Australia	17/09/2014	1,057,000	1,058
Credit Agricole Home Loan SFH	21/07/2014	28,200,000	28,259
DBS Bank (EMTN)	05/04/2014	13,000,000	13,000
Eurofima	27/03/2015	3,500,000	3,509
FMS Wertmanagement (EMTN)	01/04/2014	4,000,000	4,000
GlaxoSmithKline Capital	15/04/2014	272,000	272
ING Bank	09/06/2014	4,150,000	4,161
Kommunalbanken	26/01/2015	3,950,000	3,950
Kommunalbanken	26/01/2015	1,200,000	1,200
Landeskreditbank Baden-Wuerttemberg Foerderbank (EMTN)	02/05/2014	16,750,000	16,755
National Australia Bank	22/01/2015	10,000,000	10,020
National Australia Bank	11/04/2014	5,000,000	5,001
Nederlandse Financierings Maatschappij voor Ontwikkelingslanden (EMTN)	02/03/2015	5,000,000	5,042
Nederlandse Waterschapsbank (EMTN)	27/05/2014	34,000,000	34,020
Nederlandse Waterschapsbank	27/10/2014	16,000,000	16,003
Nederlandse Waterschapsbank	06/11/2014	5,000,000	5,004
Nederlandse Waterschapsbank	27/10/2014	3,725,000	3,726
Nordea Bank	13/11/2014	1,250,000	1,276
Rabobank Nederland	13/05/2014	5,000,000	5,023
Royal Bank of Canada (MTN)	06/01/2015	3,500,000	3,505
SSIF Nevada	14/04/2014	20,000,000	20,005
Statoil	15/04/2014	10,743,000	10,758
Sumitomo Mitsui Banking	22/07/2014	15,500,000	15,542
Svenska Handelsbanken	10/06/2014	3,550,000	3,581
WestphaliaLand Nordrhein-Westfalen (EMTN)	03/09/2014	35,400,000	35,467
合 計			274,993
<Money Market Instruments>			千米ドル
ABN Amro Bank	07/04/2014	20,000,000	19,998
ABN Amro Bank	30/07/2014	9,000,000	8,991
Agence Centrale Organismes de Securite Sociale	07/04/2014	25,000,000	24,999
AMP Bank	30/06/2014	10,000,000	9,995
Bank of Tokyo Mitsubishi	27/05/2014	15,000,000	14,994
Banque Federative du Credit Mutuel	21/05/2014	40,000,000	39,986
Barclays Bank	06/10/2014	18,000,000	17,943
BMW Finance	14/04/2014	25,000,000	24,999
BMW Finance	30/06/2014	10,000,000	9,994
BNP Paribas	17/06/2014	37,500,000	37,482
BNP Paribas Fortis	28/04/2014	13,000,000	12,998
BPCE	11/08/2014	25,000,000	24,972
Caisse des Depots et Consignation	29/04/2014	30,000,000	29,996
Citibank	19/05/2014	46,500,000	46,500
Credit Agricole	24/04/2014	30,000,000	29,995

銘 柄 名	償還日／満期日	額 面 金 額	評 価 額
			千米ドル
Credit Suisse	03/12/2014	18,000,000	17,936
Credit Suisse	14/07/2014	15,000,000	14,991
DBS Bank	28/07/2014	15,000,000	14,989
Deutsche Bank	05/06/2014	25,000,000	24,990
DZ Privatbank	30/05/2014	50,000,000	49,979
DZ Privatbank	17/06/2014	30,000,000	29,985
Eurofima	25/04/2014	23,000,000	22,998
Fingrid	07/04/2014	10,000,000	10,000
ING Bank	21/05/2014	15,000,000	14,990
Macquarie Bank	26/08/2014	18,000,000	17,976
Mitsubishi UFJ Trust and Banking	16/04/2014	50,000,000	49,995
Mizuho Bank	15/04/2014	25,000,000	24,998
Mizuho Bank Sydney	28/04/2014	20,000,000	19,996
Mizuho Bank Sydney	17/06/2014	33,000,000	32,983
Mizuho Bank Sydney	28/05/2014	10,000,000	9,996
Nationwide Building Society	12/05/2014	17,000,000	16,995
Nordea Bank	09/06/2014	15,000,000	14,994
Nykredit Bank	19/05/2014	20,000,000	19,994
Oversea Chinese Banking	28/04/2014	30,000,000	29,995
Oversea Chinese Banking Sydney	19/05/2014	20,000,000	19,994
Pohjola Bank	23/04/2014	16,000,000	15,998
Pohjola Bank	27/05/2014	15,000,000	14,995
Pohjola Bank	31/07/2014	12,000,000	11,990
Pohjola Bank	13/06/2014	9,500,000	9,495
Pohjola Bank	07/04/2014	8,000,000	8,000
Pohjola Bank	09/04/2014	7,600,000	7,600
Pohjola Bank	30/05/2014	3,000,000	2,999
Schlumberger Finance	25/06/2014	30,000,000	29,986
Skandinaviska Enskilda Banken	27/05/2014	9,000,000	8,996
Societe Generale	06/06/2014	25,000,000	24,990
Societe Generale London	27/05/2014	25,000,000	24,991
Sumitomo Mitsui Banking	30/05/2014	30,000,000	29,988
Sumitomo Mitsui Banking	11/06/2014	30,000,000	29,988
Suncorp-Metway	11/08/2014	30,000,000	29,961
Suncorp-Metway	21/07/2014	4,450,000	4,445
Suncorp-Metway	26/06/2014	1,500,000	1,499
Unilever	21/07/2014	35,000,000	34,973
Unilever	14/05/2014	30,000,000	29,992
Unilever	04/08/2014	15,000,000	14,986
Unilever	05/11/2014	15,000,000	14,970
Wells Fargo Bank International	27/08/2014	40,000,000	40,000
Zurich Finance UK	28/05/2014	20,000,000	19,993
Zurich Finance USA	13/05/2014	20,000,000	19,994
Zurich Finance USA	23/06/2014	10,000,000	9,995
合 計			1,253,440
総 合 計			1,528,433

<為替予約取引>

種 類	(2014年3月31日現在)		
	購 入 額	売 却 額	評 価 損 益
為替予約取引	米ドル	円	千米ドル
	—	—	—
小 計	—	—	—
総 合 計	—	—	千米ドル —

<その他資産・負債>

(2014年3月31日現在)

種 類	金 額
	千米ドル
Cash at banks	298,359
Interest receivable	776
Receivable on reverse repurchase agreements	100,724
Other assets	79
Liabilities	△ 2,341
(Taxes and expenses payable)	(△ 410)
(Other liabilities)	(△ 1,931)
合 計	397,597
総 合 計	千米ドル 1,926,030

*本表は、「アバディーン・グローバル・サービス・エス・エイ」から提供を受けた情報をもとに作成しております。